平成○年（○）第○号　○○被告事件
被告人　○　○　○　○

接見等禁止一部解除申請書

平成○年○月○日

○○地方裁判所　御中

弁護人　○　○　○　○

上記被告人に対する頭書被告事件について，下記のとおり申請する。

記

第１　申請の趣旨

接見禁止の対象から下記の者らを除外し，接見等禁止の一部を解除する旨の裁判を求める。

氏　名　　Ａ（昭和○年○月○日生）
住　所　　○○○○
関　係　　被告人の娘

第２　申請の理由

上記Ａは被告人の娘であり，本件には一切関係していない。

本件は，現在公判前整理手続が進行中であるところ，検察官はこれまでに，平成○年○月○日付証明予定事実記載書，同年○月○日付○○，同年○月○日付○○，及び同年○月○日付○○を提出しているが，この何れにおいても，主張内容にも請求証拠にも，Ａの氏名は一切登場しない。同人が事件と全く無関係であることは明白である。

本件は起訴からすでに〇年近く経過しており，事件と全く無関係の実の娘と警察署職員立会いの下での時間を限られた面会すらできないという事態は異常である。

起訴後，〇年近く経過しているが，これまでに被告人が何らかの証拠隠滅に関わったという事実はないし，そのような行為の存在をわずかでも疑わせるような資料も微塵も存在しない。

被告人と接見したとしても，接見の場には警察署の職員が立ち会っており，会話内容も限定されている。罪証隠滅にわたるような会話をすることは不可能であるし，もとよりそのような会話をする意思もない。被告人とAは，親子としての通常の会話をすることを希望するだけであり，接見禁止を解除しても，いかなる弊害もない。

よって，上記のとおり，接見禁止を一部解除されるよう希望する。

以上